

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	江東区子ども発達亀戸センター		回答 25/25 (100%)		公表日 2025年 3月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの目線に配慮して安全に過ごせる環境作りをしている ・整理整頓を心がけている ・亀戸に移転してからペースが使いやすくなった ・亀戸に移転して部屋や廊下などのスペースが広がった 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	20	5	<ul style="list-style-type: none"> ・欠員が出た際には他の部署より補充している ・協力体制がある ・人が足りない中でも、補助などをつけて工夫している 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談部は在籍児が非常に多く、相談部兼務の職員数と比べて適切とはいえない。現状では良好なケースを経過観察等に行っているがキャパは超えている。他児発との併用の制限等検討が必要。 ・総在籍児数と職員の数とは合っていない。 ・職員の欠員がでて職員が一時的にしか入らず、担当業務が増えている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的にわかりやすくしている ・室内の刺激の量を調整したり、写真や絵カードを用いて分かりやすい工夫をしている。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・日々清掃、清潔に保っている ・日々の清掃に加えて、定期的に床を熱風消毒しています。 ・都度清掃し、清潔を保つように心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬場、床が冷たい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて個室の使用が認められている ・セラピーマット等を利用してエリアを確保している ・遊戯室などを利用して工夫している。 ・衝立を使用するなど部屋を区切りながら使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お勉強時使う以外の個別の部屋はない
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、朝礼、終礼を行い、情報共有を行っている ・朝と療育後の打ち合わせで実施している 	<ul style="list-style-type: none"> ・全くない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見を頂いた際には、話し合いの上業務改善に努めている ・毎年アンケートを実施している 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22	3	<ul style="list-style-type: none"> ・設けられている ・通園クラスはすぐーの導入で、お便りの配分など保護者連絡が楽になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を言う場はとて少なく、言っても反映されない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善につなげている ・定位的に第三者評価を行っている 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内、外、多くの研修案内があり受講させている ・医師や歯科医師を招いた内部研修や嚙下・発達・就学についての外部研修にも参加している。 ・内部での研修の他に、外部の研修案内や費用の負担があり研修が受けやすくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・療育があると行きたい研修も行けない ・研修は勤務時間外はどうかと思う
	11	適切に療育プログラムが作成、公表されているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・作成されている ・保護者のニーズを調査して個別支援計画を作成している ・クラスでも準備をすすめている。 ・季節の行事を発達段階に合わせて最適化し、プログラムを作成するようにつとめている。 ・現在、公表に向けて勉強会や作成をすすめている ・5領域の支援プログラムを作成中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の力の差が広がっているが、伝えるための時間がない

12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との個人面談を定期的に行い、子どもの姿を客観的に分析し作成している ・作成した支援計画を保護者に説明して必要に応じて変更している ・初回面接書類やニーズ調査表、検査結果を踏まえた上で作成している。また作成したものを児発管が確認フィードバックをしている。 ・ニーズ調査票を用いて保護者の意向を確認。面談や指導を通して適宜修正をしている 	
13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの支援に関わる職員が共通の理解を持って検討され職員による会議を設けて共通理解をはかっている。 ・職員で個別支援計画の作成を分担している ・基本児発管が全員分作っていないで、担当が作っている 	
14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の情報共有を行なっている ・日々の振り返りや言語認知学習に支援計画を記載して、共有や確認ができるようにしている ・打ち合わせやプログラム作成時に都度共有している。 ・日々のプログラムに個人のねらいを記入するなど共通理解をはかっている ・個別支援計画を職員が適宜確認できるよう、保管場所を工夫している 	
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> 記録をとり確認している 定期的な発達検査、言語認知学習での日々のアセスメントの更新をしている 毎日クラスでよく振り返りを行っている 定期的な発達検査の実施 	
16	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・設定されている 	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで意見交換をしながら行なっている ・OTやPT、ST等専門の指導者からアドバイスを受けている ・担当のものが一人、またはリーダーと二人で作成している。 	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階を見極めて進めている ・クラスの振り返り等を通して、そのグループに合わせた活動プログラムを検討している。 ・研修に出る、見学訪問、研修に来られた先生に遊びを聞く等して広げている 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度のものを踏襲している。
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じ適宜支援を行っている 	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで必ず事前に打ち合わせを行い連携を取っている 	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の振り返りを当日中に行ない支援に繋がられるよう情報共有をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・行っているものの、時間は十分ではない ・支援で気付いたことを共有する時間がない。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の様子を詳細に記録し、検証、改善に努めている 	
23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの上見直しを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しはしていない
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者が参画している 	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に連携をとっている ・保護者に確認のうえ、情報共有を行っている ・定期的に検診を行なっている 	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・見学訪問日を設けて担当が訪問している ・園訪問や見学等、連絡を取り合い相互理解を図っている ・職員の見学訪問を実施している ・見学訪問の実施。保護者の希望で園と電話連絡をしています。 ・見学訪問の他にも電話等で連携をはかっている ・園訪問に行っている 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・詳細な移行支援報告を作成して、必要に応じて会議を行なっている ・文書等を作成し情報共有、相互理解を図っている ・移行支援の資料を作成している 	
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・発達講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・他療育施設との関わりは全くない
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・医師などからの専門的な研修に参加している 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部との関わりがない
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	23	2	<ul style="list-style-type: none"> ・参加している職員がいる ・施設の代表が参加している ・一部の人なら 	
	31	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	11	14	<ul style="list-style-type: none"> ・園訪問の機会がある ・活動する機会はないが、地域のこどもや小学生と公園を共有することはある。 ・園訪問がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは感染症の問題があり交流が難しかったが、時期をみて再開できると良い。移転後は同じ建物の中に保育園さんがあるので、交流が検討できると良いと思う ・以前は、一日支援コースの園児を対象に行っていたが保育園等の並行通園児が増えて実施が無くなった ・移転後にその機会をどうもつか検討が必要である？
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談を行い共有している ・サービス提供記録以外で、お迎え時に一日の様子を口頭で共有するように心掛けている ・月1回面談がある 	
33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内に掲示、および口頭での案内を行なっている ・日曜療育参加の保護者懇談会や、保護者会の場で研修や情報提供をお行っている。 ・保護者会の時に保護者向けの講座を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全くない。 	
保護者への説明	34	重要事項説明書、療育プログラム、利用者負担金等について丁寧な説明を行っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明は、書面配布だけではなく新入園時には時間をかけて説明している ・行なっている 	
	35	個別支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に記入頂いたニーズ調査表をもとに作成している ・家族、子どものニーズ調査を行い作成している ・ニーズ調査の紙面を用いている 	
	36	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に説明を行い同意を得ている ・初回登園日に個別に説明している 	
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	25	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談、および必要に応じて行なっている ・必要に応じて電話相談を実施 ・必要に応じて相談支援から情報提供をしてもらったり、園長面談に繋げたりしている。 	
	38	父母会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	24	1	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会活動の支援、保護者会での意見交換の機会が設けられている ・懇談会を年二回行い、保護者間が話しやすい話題やきっかけをつくり懇談会をすすめている ・公開療育後に保護者会を行い交流する機会を作っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会、保護者会、日曜療育参加での懇談会、療育参加などの場があるが、きょうだい同士で交流する機会については今後の課題と思われる

等	39	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	25	0	・保護者、職員にも周知し迅速に対応している	
	40	定期的に通信等を発行することや、HPや情報連絡システム（すぐる）等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	25	0	・毎月のおたより、日々の活動内容や様子、その他適宜配信している	
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25	0	・個人情報の取り扱いをルール化し徹底している ・個人情報については鍵付きロッカーに収納している	
	42	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	25	0	・個別に対応している	
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	6	・開所式の際、地域の関係機関の方を招待した ・発達支援講座を開き地域の関係機関を招待する予定 ・図書ボランティアのお話を月に1回程度開催している	・移転後の行事、地域にひらかれた在り方について検討が必要である
非常時等の対応	44	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応のマニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	24	1	・定期的実施 ・避難訓練の計画と実施、感染予防についてはクラス説明の際に保護者に周知している	
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	25	0	・定期的実施 ・災害、火災を想定しての自主避難訓練を実施している。	
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	25	0	・聞き取り、書面での確認を行なっている ・朝礼時に確認し、クラスで対応の有無をチェックしている	
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	25	0		
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	24	1	・上級救命の資格を取得、更新している	・研修はない
	49	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24	1	・特別な配慮の申請書を記入して、対応の確認を行なっている	・保護者への周知は十分とはいえない
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	24	1	・毎週一回共有している ・職員会にて報告、検討を行なっている ・毎週金曜に全体で確認している	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	25	0	・各部署に担当者を設けている ・毎年必ず職員研修を行っておりその都度意識が高められる	
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	23	2	・事前に了解を得た上で、万が一行った場合には記録、および保護者への配信でも報告する	・どのような場面かの共通認識はなく自己判断で行なっている	